



1月の中旬から、園内でインフルエンザが大流行しています。こまめにうがいをしてのどに着いたウイルスを洗い流し、感染を予防しましょう。また、免疫力を下げないために、規則正しい生活を送りバランスのとれた食事を取り、身体を冷やしすぎないように注意しましょう。

2月3日は節分ですね。子ども達が健康で過ごせますように・・・ 祈りを込めて「鬼は外！福は内！」

1月の病気

インフルエンザ A	51	インフルエンザ B	6
原因のわからない発熱	のべ 37		
アデノウイルス	6	溶連菌	3
中耳炎	5	突発性発疹	1



2月の保健行事

乳児身体測定	2/5(月)・6(火)
幼児身体測定	2/7(水)
在園児(2024年度)内科健診	2/27(火)14:00～

*感染拡大を防ぐため、いつもと体調が違う時は、出来ればおうちでの様子観察をお願いします。

*1/18 歯科検診がありました。

虫歯がないかな？ 一人ひとり丁寧に診ていただきました。
 治療が必要な子には、個別で通知させていただきますので、歯科受診をお願いします。
 虫歯は、歯が生え揃う2歳頃から出来始めることが多いそうです。日頃からのケアで予防しましょう。

<歯科検診時に、よくある質問と歯医者さんからの回答>

Q1,歯磨きはしたらよいですか？

- ・歯が生えてきたら、歯の手入れを始め、歯磨きの習慣をつけましょう。
- ・歯磨きは歯が8本生える1歳半頃から始め、ブクブクうがいが出来るようになったら歯磨き粉を使いましょう。フッ素配合の歯磨き(小児用を使用する)は、歯を強くしてくれます。
- ・磨き残しがないように、1回/日(出来れば夜)は、大人が仕上げ磨きをしましょう。



Q2,歯並びや咬み合わせが心配です。指吸をします。歯ぎしりをします。

- ・まずは、かかりつけの歯科医を探して、経過をきちんと診てもらいましょう。
- ・指吸は3歳ぐらいまでにはやめたいですね。子どもの歯ぎしりは問題ないと思います。



*子どもの発熱について



発熱のせいで、子どもの「脳が障害を受けるのではないかと心配になった経験はありませんか？
 世界中の多くの親が同じ心境になっていると報告されていて、feverphobia(発熱恐怖症)と呼ばれています。
 しかし、実際には発熱(41.5℃以下)のせいで脳が障害を受けることはありません。

恐いのは、熱中症による高体温や脳損傷がある時の高体温です。また、発熱を伴う病気の中には、急性脳症、敗血症など、脳に障害を及ぼす可能性があるものが混ざっていることがあるので、注意が必要です。

熱の高さと、重症度・緊急性は比例しません。見分けるには熱自体よりも、全身状態・意識状態の方が重要です。

- ① ぐったりして反応が悪い。顔色や唇の色が悪い。
 胸や喉の下が凹むような呼吸をしている。→救急受診
- ② 哺乳量や水分摂取量、尿量がいつもの半分以下。
 好きなおもちゃに興味を示さない。→救急外来に受診相談
 (☎ #8000 など)
- ③ 熱が3日以上続く。→かかりつけ医/クリニック受診



発熱時の対応

1. 水分をこまめにとる。
2. 寒気がなければ、無理に暖めない。
3. 入浴は短時間 or シャワーで。
4. しんどくて眠れない・ご飯が食べられない時には、解熱剤を使用しましょう。